

ワークショップ

# 避難の呼びかけ体制づくり

広島県自主防災アドバイザー  
柳 迫 長 三

# 避難先

◎ ○○地区振興センター、小学校など

# 避難情報の入手方法

◎GIG訓練で大竹市からの説明を思い起こして  
ください。

もう一度説明を聞きたい方はおられますか。

# あなたの避難がみんなの命を救うカードを活用しましょう



あなたの避難が  
みんなの命を救う！

# 呼びかけの順番(連絡体制)

①会長(副会長) ⇒ 住民

②会長(副会長) ⇒ 役員 ⇒ 住民

③会長(副会長) ⇒ 班長 ⇒ 住民

④会長(副会長) ⇒ 役員 ⇒ 班長 ⇒ 住民

⑤その他 【       】

# 呼びかけの担当者不在時の対応

◎会長が不在時：副会長 役員 班長 そのほかが代行する

◎副会長が不在時：会長 役員 班長 そのほかが代行する

◎役員が不在時：会長 副会長 班長 そのほかが代行する

◎班長が不在時：会長 副会長 役員 そのほかが代行する

◎その他

# 呼びかけのタイミング

- ①大雨警報
- ②警戒レベル3
- ③警戒レベル4
- ④その他

# 呼びかけの範囲・優先度

①全世帯

②災害が想定される区域の世帯

③高齢などの要配慮者

④その他



# 呼びかけ方法

- ① 固定電話
- ② 携帯電話
- ③ 戸別訪問
- ④ SNS・メール
- ⑤ LINEなどのアプリ
- ⑥ その他

## 呼びかけ内容（メッセージ）

- ① 「近所の方も避難している（避難するそうなので、避難しましょう）」
- ② 「一緒に車で避難しましょう」
- ③ 「あなたが避難することは、みんなの命を救うことになるので避難しましょう。」
- ④ その他

## 呼びかけ・避難の確認方法

- ① 住民へ避難の呼びかけをしたら、組長は会長・副会長のいずれかに呼びかけた人の避難先を報告する
- ◎ 会長・副会長は、組長からの報告を情報共有する。

## 呼びかけ・避難の確認方法

- ① 最後に呼び掛けられた人が、会長や役員に、呼びかけ完了の報告をする。
- ② 住民に避難を呼びかけた人が、会長や役員に、呼びかけ完了の報告をする。
- ③ 呼びかけの順番と逆順に報告する。
- ④ 避難所で名簿と避難者を突合し、避難の完了を確認する
- ⑤ その他

## 他団体との連携

- ◎ 現在 連携している団体はないが、今後、消防団や民生委員、子ども会などと話し合い、災害時における情報共有や要配慮者の支援、平時の防災活動などについて、連携していく予定です

- ◎ 防災マップに作成について  
今後、土砂災害警戒区域等の災害想定区域や過去の被災箇所、避難所、避難ルートなどを示した防災マップを作成し、地区の状況を把握する予定です